

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年3月10日

事業所名 帯広市幼児ことばの教室

		チェック項目	は い	い え	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5 人	0 人	・適切な数の指導室があり、その時間に使用したい部屋については、お子さん同士の中で調整し、職員も加わりながら決めています。	・今後も左記を継続します。
	②	職員の配置数は適切である	5 人	0 人	・今年度は、育児休業明けの指導員が戻って来て、新規に指導員が1名加わり、当事業所が求めていた配置人数で1年間事業が行えました。	・今後も左記を継続していきたいと思いますが、次年度においては、また異動などご迷惑をお掛けすることも予想されます。お子さんの指導・支援に専念できる体制が取れるよう努力していきたいと思ひます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5 人	0 人	・お子さんが分かりやすいように、整理整頓に心掛け、子ども自ら動けるような工夫をしています。	・今後も左記を継続します。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5 人	0 人	・今年は特に新型コロナウイルス感染予防に気を配り、毎回の指導終了後には、指導室や観察室の机や椅子、使用した玩具、ドアノブの、アルコール消毒を行うなど徹底してきました。 ・しかし、待合室に関しては、机や椅子、ドアノブなどの消毒は毎回行っていましたが、そこにある玩具や絵本などは、お子さんの入れ替えに合わせ行ってはいたものの、消毒が間に合わないなど、手薄になってしまっていました。	・今後も清潔で心地よく過ごせる環境に留意していきたいと思ひます。 ・待合室に関しては、事業所を利用されているお子さんの兄弟姉妹の利用がほとんどのため、感染予防の観点から、当面の間、待合室の玩具や絵本の利用を控えてもらうようにしました。小さいお子さんで待つのが大変な場合は、家庭から持参してもらった玩具や絵本を使用させていただき、または車の中で待っていただくなどの対応を取らせていただきました。新型コロナウイルス感染が終息した時期を見計らい、清潔に使える玩具や絵本を選別し、使用できるようにしていきたいと思ひます。
業務 改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5 人	0 人	・相談から始まり、検査、評価、個別支援計画会議や中間評価会議など、必ず職員全員で会議を行い、目標の設定や指導計画、実施評価(振り返り)、新たな設定など、半年に1回は行うようにしています。	・今後も職員全員が共通認識持ち、お子さんや保護者への指導に当たれるよう、PDCAサイクルを意識して進めていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5 人	0 人	・保護者の評価あるいは事業所内の評価内容について、すぐに着手できるものに関しては、すぐに行動に移すようにしています。	・昨年度指摘された、観察室のカメラの故障については、帯広市に対応していただき、指導の様子を観察室で見られるようになりました。 ・保護者の評価に対しては、真摯に受け止め、事業所で解決できるものに関しては、早急に取り組んでいきます。また当事業所だけでは対応しきれない内

業務改善					容については、当法人や帯広市と話し合いながら進めていきたいと思ひます。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5人	0人	・教室だよりに「保護者等からの事業所評価結果(公表)」と「事業所における自己評価結果(公表)」を添付し、保護者や関係機関に配布するとともに、「帯広市社会福祉協議会のホームページの幼児ことばの教室」にも掲載しております。	・今後も左記を継続いたします。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0人	5人	・第三者による外部評価は行っていませんが、法人監査が年4回行われる中で事業報告等を行い、指摘など受けた箇所についてはすぐに修正を行っています。	・第三者による外部評価については、今後当法人と検討していく必要があると思ひます。
適切な支援の提供	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5人	0人	・年間研修計画を作成し、職員全員に研修の機会が当たるようにしています。	・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の観点から、外部で行われる研修会への参加は控えてきましたが、ZoomやYouTubeなどのオンライン研修には参加しました。今後も研修の機会を多く確保し、直接参加が難しい場合は、オンライン研修などの活用も考え、職員の研修の機会を増やしていきたいと考えています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5人	0人	・お子さんの指導が開始される前段で相談を受けており、お子さんに関する情報はある程度、収集できております。また、実際通う段階では、ことばの検査を実施し、その情報を基に事業所内で判断会議を開き、お子さんの状況把握、原因の推定、今後の指導の方向性など、職員全員で話し合い、個別支援計画書の作成を行っています。	・今後も保護者のニーズに合わせながらも、お子さんの状況や課題、指導の方向性などを判断させてもらいながら、必要な指導・支援について保護者に理解をいただきながら、個別支援計画書を作成していきたいと思ひます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0人	5人	・事業所のお子さんに対応した(ことばに特化した内容)独自のアセスメントツールを使用しています。	・標準化されているものはいませんが、40年以上の歴史の中で使われてきているアセスメントツールを、その時代に合わせながら修正・変更を重ね使用してまいりました。子どもの適応行動の状況を判断する上では、特に問題なく使用できています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5人	0人	・児童発達支援ガイドラインを参考に、当事業所のお子さんに必要な項目を選択し、具体的な個別支援計画書を作成しています。	・お子さんの成長に合わせながら見直しを行い、その都度、お子さんの状況に合わせた個別支援計画書をなるべく具体的に提示させてもらっています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5人	0人	・個別支援計画書作成にあたっては、計画書会議や中間評価会議などの中で、個別支援計画に沿った指導や支援が行われているのかを、全員で話し	・個別指導のため支援計画に基づき、指導員一人で指導・支援に当たりますが、お子さんの状況に関しては、全員の共通理解の基で、必要な指導・支援が行えるよう、話し合いを重ねています。

適切な支援の提供

				<p>合い、必要な修正を行いながら、指導・支援に役立っています。</p>	<p>・今後もそれぞれの会議で出された意見を参考にし、予後の見通しを立てながら、今、お子さんにとって必要な指導・支援は何かを考え進めていきます。</p>
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5人	0人	<p>・個別指導のため毎回の指導・支援プログラムをチームで立案することはありませんが、指導員同士での指導・支援の在り方などについては、話し合いながら、自分の指導・支援に生かしています。</p>	<p>・会議の中で話し合う場合もありますが、それとは別に指導員同士が指導・支援の前後で、話題を出しながら話すことも大事な時間と考えています。</p>
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5人	0人	<p>・各指導員の知識やアイデアに基づき、お子さんが魅力を感じ、飽きないような工夫を行っています。</p>	<p>・自分が指導・支援の中で実際にやってみて楽しかったことや、そのお子さんの反応など、毎回の指導・支援の合間に出される、ちょっとした話題が活動のアイデアに繋がることが多くあります。会議の中で出される話題より、取り組みやすいこともあり、大事にしていきたいと思っています。</p>
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5人	0人	<p>・事業所では、個別指導のみなので、お子さんが所属している保育所や認定こども園・幼稚園との連携を大事にさせながら、個別支援計画を立てています。</p>	<p>・保育所や認定こども園・幼稚園には、年2回程度は訪問させていただき、集団でのお子さんの様子や担任からのお話もお聞きし、それらを参考にしながら、個別支援計画の立案、修正などを行っています。</p> <p>・今年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、訪問はなるべく控させていただき、電話などで情報交換をさせていただきました。感染が終息した折には、また訪問させていただき、個別支援計画の作成に生かしていきたいと思っています。</p>
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5人	0人	<p>・毎朝、朝の打ち合わせを行い、その日の職員の同行や、通室してくるお子さんの人数、所属訪問先などについての確認を行っています。個別指導なので、指導内容まで打ち合わせには出すことはありません。</p>	<p>・今後も左記を継続します。</p>
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5人	0人	<p>・個別指導のため、毎回振り返りは行っていませんが、必要に応じて気づきや支援の方法などの話題提供があると、そこで話し合うことはあります。</p>	<p>・今後も、指導に行き詰まりを感じているケースの相談は、その都度話題にするなどして、職員の困り感に応じられる体制を整備していきます。</p>
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5人	0人	<p>・日課表の中で、指導終了後、次の指導ケースが来るまでの間、記録を書き、録音を聞き、保護者などに連絡を取るなどができるような時間を設けてあります。</p>	<p>・毎回指導終了後、すぐに記録を書くことになっています。前回行った指導・支援の記録を見返すことで、今日すべき指導が分かるようになっているので記録は大事にしたいと思っています。</p>
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5人	0人	<p>・概ね半年に1回の割合で、個別支援計画書の見直しを行います。その見直しのためには、子どもの今現在の状況を正しく評価しておかなければならないこと</p>	<p>・新規入所のお子さんが、毎月2～4人入ってきます。その新規入所の際に実施した「ことばの検査」をもとに、個別支援計画書が作成されますので、以後その日を基準に半年に1回ずつ、中間評価と</p>

				から、中間評価を行うことが大事になります。それをもとに、次の個別支援計画書の作成を行っています。	個別支援計画の会議を開き検討していきますので、毎月、計画書会議や中間評価会議が行われ、必要な判断や見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0人	5人	・セルフプランのため相談支援事業所とのかわりかはほとんどありませんが、今年度は、相談支援事業所を活用しているお子さんがおり、今後、支援会議が行われる予定になっております。	・お子さんにかかわる関係機関との情報の共有は、指導・支援を行っていく上で重要なことだと思っております。要請に応じながら、積極的に連絡を取り合っていきたいと思っております。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5人	0人	・当事業所が入っている建物が保健福祉センターであるため、子育て支援課や健康推進課とのつながりは常にあり、連絡、連携を取らせていただいております。	・今後も左記を継続します。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	—	—		
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5人	0人	・4月から新1年生になるお子さんで言語通級指導教室や特別支援学級へ通級や通学となったお子さんについては、3月末に引き継ぎを行っています。	・言語通級指導教室や特別支援学級に対し、保護者の同意を得た上で、今までの指導・支援の経過や内容、お子さんの特徴など、必要な情報の提供と必要な配慮をお願いしています。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0人	5人	・児童発達支援センターや児童発達支援事業所との連携や研修は特にありません。	・専門機関との連携は必要だと考えておりますので、必要に応じ、助言や研修を受けられるような体制づくりに、配慮していきたいと思っております。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5人	0人	・当事業所を利用しているお子さん全員が、保育所や認定こども園、幼稚園を活用しており、障害の有る子、無い子にかかわらず、普通に活動を行っています。	・当事業所は個別指導のため、集団での様子は、個別指導である当教室にとっては重要であり、各保育所・認定こども園・幼稚園にお伺いし、お子さんの適応の様子や、また担任の先生と情報共有するなどして、指導・支援に生かしています。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5人	0人	・平日の午前中に開催される場合の参加は難しいのですが、土日開催の研修会には参加しています。	・今後も左記を継続します。

関係機関や保護者との連携	③①	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5人	0人	・指導・支援後、毎回保護者の方と話を する時間を設けてあります。その日の指 導・支援の状況や家庭での様子などを お聞きしながら、共通認識を持つよう に努力しています。	・今後も左記を継続します。
	③②	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5人	0人	・ペアレント・トレーニングと称して、プログラ ムを組みながら支援を行なっているわ けではありませんが、通常行われる指 導・支援では、保護者が観察室からか かわりの様子を見ることができるため、子 どもの姿を客観的に観察し、指導員 のかかわり方と合わせて、自分を振り返 っておられる方が多いと思います。また保 護者に同室してもらいながら、お子さん の成長に合わせながらかかわり方を考 えて時間も設けています。	・今後も左記を継続します。 ・保護者の方とは、常に話し合える時間を確保して おりますので、話し合いながら必要な指導・支援を 行ってきたいと思えます。
保護者への説明責任	③③	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5人	0人	・利用契約を結ぶときに、重要事項説明 書の説明を行い、保護者からの質問に は丁寧に答えています。	・今後も分かりやすく、丁寧な説明に心掛けていきま す。
	③④	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5人	0人	・年間少なくとも年2回は個別支援計 画書を作成し、保護者に説明の上、同 意を頂いております。	・今後も左記を継続します。
	③⑤	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5人	0人	・毎回の指導後、保護者の方と話す時 間を設けており、保護者の相談に応じ ています。	・今後も、保護者の方の相談には丁寧に対応し、 必要な助言や情報提供ができるよう研鑽に努めま す。
	③⑥	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0人	5人	・当事業所の独自の父母会はありません。 父母会の必要を申し出られた場合 は、既存の「帯広地区ことばを育てる親 の会」の入会の案内を行っています。	・今後の左記を継続します・ ・保護者の方から、父母会の設立などの要望があ った場合には、検討をさせていただきます。
	③⑦	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5人	0人	・相談に関しては、指導員が常に対応で きるようにしています。指導員の対応で は難しい場合には、児童発達管理責 任者が対応するなど適切に対応でき るように心掛けています。	・今後も、指導時間内での相談が可能な場合は、 指導員が対応するようにしていきますが、時間内 では相談しきれないときや、指導員の対応では難しい 時には、時間を別に取り、児童発達管理責任者 が対応するなど、適切に進めて行きたいと思いま す。
③⑧	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5人	0人	・教室だよりを発行し、行事予定や学習 資料、指導のひとコマなどを掲載し、保 護者や保育所・認定こども園・幼稚園 など所属に配布を行っています。	・今後も左記を継続します。	

保護者への説明責任	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5人	0人	・お子さんや家庭に関する情報などについては、適切に管理しております。また、所属訪問や引き継ぎなど、個人情報にかかわる内容のやり取りについては、保護者から「個人情報使用同意書」を頂いており、その範囲の中での情報交換を行っています。その際には、再度口頭での同意も受けるようにしています。	・今後も、個人情報の取扱いに関しては、十分注意しながら取り扱うこと、またその都度、保護者にはきちっと確認を頂きながら進めていきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5人	0人	・お子さんや保護者の方に伝わりやすいように、丁寧に伝えるように心掛けています。	・今後も左記を継続します。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0人	5人	・事業所独自の行事は特に設けていませんが、当法人が行っている「社協フェスタ」「赤い羽根共同募金」などの行事には、多くの市民やボランティアの方が参加されますので、その中で事業所の理解を図っています。ただし今年度は新型コロナウイルス感染予防のために、行事がすべて中止となってしまいました。	・今後、新型コロナウイルスの終息が見込まれ、行事が再開された際には、またその中で事業所の理解を図っていきたくと思っています。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5人	0人	・契約時に重要事項説明書の中での大枠の説明と、また感染予防に関しては、教室だよりの中で周知するなどの対応は行っています。ただ発生を想定した訓練までは行えていません。	・保護者の方と新規契約を取り交わす際に行う、重要事項説明書の中で説明は行っておりますが、口頭説明では説明しきれていないところがあること、また発生を想定した訓練に関しては実施が中々出来ていないのが現実です。他事業所の対応なども参考の上、訓練の実施方法や、また口頭説明だけではなく、各種対応マニュアルを簡略化して、理解しやすい冊子などの作成も考えております。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5人	0人	・当事業所が入っている建物の避難訓練には職員が参加し、非常口、非常ベル、防火戸、避難経路、消火器等の状況等を把握し、避難・誘導などについての訓練は受けています。また、事業所独自の避難経路図を作成し、わかりやすい場所に掲示し、目で見て確認がし易いようにしてあります。	・当事業所が入っている建物で行われる避難訓練は16:00以降の時間で行われることが多いため、通室児とその保護者の参加はできていません。従って、契約時に保護者とお子さんを連れ、実際の避難経路を辿って、避難口まで誘導し確認してもらうなどの配慮は行っています。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5人	0人	・来所相談、事前アンケート、ことばの検査の面接などの中で、お子さんの状況について確認をさせていただいています。	・今後も左記を継続します。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5人	0人	・当事業所では、食物の提供は行っていません。	・今後も左記を継続します。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	0人	5人	・ヒヤリハットにかかわる事案はありませんでした。	・ヒヤリハットに関しての事案は特にありませんでしたが、今後も注意を怠ることなく指導・支援に当たらなければならぬと思っています。

非常時等の対応	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5人	0人	・当事業所における虐待に関わる事案はありませんでした。また虐待に関する研修については、新型コロナウイルス感染防止のため、参加は控えました。	・児童虐待に関する研修案内がありましたが、新型コロナウイルス感染予防のため出張は控えました。オンライン研修なども探してみましたが見つからず、今年度は参加できませんでした。今後も積極的に職員研修の機会を探していきたいと思います。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0人	5人	・身体拘束を行うような場面はありません。	・今後も身体拘束を行うような場面は作りません。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。